

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年 3月25日

事業所名 児童サポートチームにじいろの木

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			できるだけ物を置かないようにしている。	オープンで広いスペースを常に確保出来るようにしておく。
	2 職員の配置数は適切である	5			人員基準に配慮した配置。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	1	1	安全面に配慮している	室内のフロアーはバリアフリー化されているが、トイレに段差がある。児童は歩行に問題なし。
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	2	1		皆が同じ方向を見るようにミーティングの回数を増やす。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1			できる改善は行っている
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5				今年は3月25日。ホームページにてりたりこのサイトに掲載。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			5		今後、代表を初め社労士等からもアドバイスをもらう予定。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5				中々コロナ禍で厳しかったが、タイミングで行うことが一度あった。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5				しっかり、管理者と児発管が行っている。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5				事業所のオリジナルツールを使用。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5			スタッフ間で立案。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			児童のニーズに沿った内容、多少の固定化になっている。	モニタリングで再検討。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5				平日、長期休暇は個々に応じた内容にしている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5				個々の課題に沿った個別支援計画所を作成している。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5				見朝のミーティングで話し合い実行できる。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5				毎朝のミーティングで前回の振り返りを行っている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5				毎回支援記録は、記入を行っている。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5				6か月のスパンで行っている。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5				ガイドラインに沿って支援を行っている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	5				児童発達管理責任者が管理者で対応している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	5				情報共有はできている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている		5			医ケア児童がいない為に連携体制は整っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	5				情報共有と相互理解に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	5				情報提供する事は知っているが、移行児童がい ない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている			5		コロナ禍でほぼ出来ていない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある			5		以前は、行っていたがコロナ禍で今はできていな い。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している			5		全く関わっていないので、今後は参加してい きたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	5				LINE登録で繋がっており、何か有れば直ぐに対 応できるようにしている。
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている			5		情報共有は出来ているが、支援は完璧ではな い。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	5				契約時にしっかりと伝えている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	5				連絡が来た場合は適切に対応し、支援を行っ ている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している			5		父母会も以前は行っていたが、今はコロナ禍で できない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	5				苦情があった場合は、迅速に対応を行うは、周知して いる。直ぐに代表に上がるようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	5				ブログ等LINEでの発信にしている。
	35	個人情報に十分注意している	5				しっかりと対応している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	5				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている			5		地域の自治会等に加入しているが、イベント等 は行われていない。コロナの影響

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		5			内容の濃い訓練を行う。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5				研修会での動画視聴を全職員で行う。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5				事業所では、身体拘束をやむを得ずでもやらないので計画書への記載もなし。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5				アレルギーの児童の把握は、職員全員が把握している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5				ヒヤリがあった時点で、全員で共有している。

